

防除所レポート [赤かび病菌の子のう胞子の飛散好適日と発病穂率]

小麦では、開花期から 10 日程度が赤かび病菌に最も感染しやすい。この感染好適期間に子のう胞子の飛散好適日の出現回数が多いと、発病穂率が増加する傾向にある(図)。

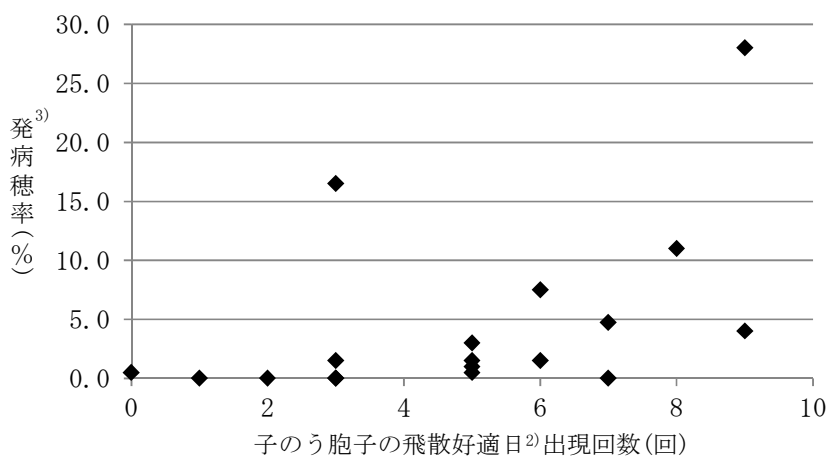


図 小麦(農林 61 号)の開花期後 10 日間¹⁾における赤かび病の子のう胞子の飛散好適日出現回数と赤かび病発病穂率(県予察圃(水戸市))

1) 出穂期後 7~16 日

2) 最高気温 15℃以上かつ最低気温 10℃以上で、湿度 80%以上の日あるいは降雨日とその翌日

3) 平成 7 年~24 年の 5 月下旬または 6 月上旬の調査値

茨城県病害虫防除所

病害虫発生予報 5 月号 (平成 25 年) より抜粋